

研究計画書

ゼミ名	永廣ゼミⅡ	チーム名	財政調査班
タイトル	日本の財政は破綻するのか？		
テーマ群	b)財政・金融		
メンバー	池上尚弥 井出聡志 大西弘一郎 亀谷涼太 竹重昭彦 橘由樹 中村匡志 本郷和希 山本陽介 家根良和		
研究計画内容	<p>巨額の債務を抱えている日本はこれまで幾度となく破綻の危機を叫ばれてきました。対 GDP 比では 1997 年には既に 100%を超える債務を負っており、現在の総債務額は、対 GDP 比で 200%を超える 1100 兆円にも達しています。現在はアベノミクスで景気回復の兆しが見えつつありますが、見通しは立っておりません。我々は今回、現在の日本の財政が持続可能なのか、それとも近く破綻を招くのか、という経済学者間でも意見の分かれる議論についての結論を求めるべく、日本財政の研究を行ないました。</p> <p>まず財政の現状を歳入・歳出の内訳や政府の掲げる健全化目標を検証したうえで、財政で良く挙げられるプライマリーバランスやドーマーの条件の概念を考えます。また、財政問題を考える上で「破綻」という言葉が一人歩きしている点について、過去の破綻事例から、破綻とは「債務不履行」に陥ることと捉えます。</p> <p>日本の債務額の規模は、現在破綻に瀕しているギリシャすら比較にならないほど大きいものですが、これまで破綻していないことは、ある種の強さを持っているともいえるでしょう。それを調べていくことで、日本財政の強固さを明らかにしていきます。同時に、破綻を引き起こしうる不安要素にも焦点を当て、その危険についても触れていきます。</p> <p>そして日本財政に強固さがあるとはいえ、問題を抱えているのは事実です。研究結果を通じて、日本が目指すべき健全な財政の姿を考え、それに至る手段を示していきたいと思えます。</p>		